

## 今川氏と駿府の関わり 静岡で「みらい学会」講演会

講話する本多さん＝静岡市葵区の市民文化会館



徳川時代の歴史的意義を研究、発信する「徳川みらい学会」は26日、「今川から駿府への贈り物」をテーマにした講演会（静岡市、静岡商工会議所共催）を静岡市葵区の市民文化会館で開催した。

共に静岡大名督教授の本多隆成さんと小和田哲男さん（徳川みらい学会会長）が講師を務め、今川氏と駿府の関わりについて述べた。

本多さんは、地域の民衆が尊崇していた有力な寺社に戦国大名が諸特権を与えて統制下に置く領土支配に焦点を当て、今川氏の宗教政策を「今川仮多目録」などから明らかにした。2018年から3年間行った臨濟寺古文書調査で見つけた葬儀記録についても紹介した。

小和田さんは、徳川家康が今川から継承したものを題材に講話をした。8歳から19歳まで今川氏の一族家臣となり、戦国大名としての先進的な諸政策を目の当たりにしながら生活、継承してきた能文化や商業政策などについて解説した。

会員と一般参加者の約300人が講話に耳を傾けた。